

第5期 東久留米市地域産業推進協議会
(第1回会議録)

- 1 日 時 平成28年11月30日(水) 午後6時30分～8時
- 2 会 場 東久留米市役所6階602会議室
- 3 出席者等(敬称略・順不同)

岩崎 哲二	大山 賢一	大山 裕嗣	齋藤 正人	篠宮 武博	篠宮 利則
篠宮 宣典	長谷山大輔	水越 泰弘	横山 和子	若林 弘子	

事務局 鹿島、関、野村、森山、森本、笹生、三沢、里見、瀬口
並木市長
オブザーバー 2名
欠席 前神 有里

4 次 第

- (1) 委嘱書交付
- (2) 市長あいさつ
- (3) 委員自己紹介
- (4) 会長及び副会長の選任
- (5) 会長及び副会長あいさつ
- (6) 協議事項
 - ①今までの取り組み経過と今後の進め方について
- (7) その他

5 会議内容(要旨)

- (1) 委嘱書交付
- (2) 市長挨拶

(市長) 委嘱書の交付をさせていただいた。委員を引き受けていただき、ありがたく思う。この協議会は、平成14年度より皆の協力を得て設立された。「夢と希望の持てる元気な東久留米をつくる」を基本とし、産業の活性化に向けて取り組んでいきたい。そのためには、地域の歴史や風土を理解している皆様の協力が必要である。東久留米を誇りに思い、東久留米の未来を想う人材が集まるこの協議会の皆様が、東久留米をさらに発展させるため、様々な分野の活発なご議論を賜りたい。

(3) 委員自己紹介

(委員) 今年の4月から西東京の商工会から東久留米の商工会に異動してきた。東久留米市の産業振興が活発になるように手伝いたい。

(委員) 下里在住。花の生産農家をしている。3期目となる。都市農業の活性化・商工業の活性化に貢献していきたい。

(委員) 東口で町工場をしている。3期目となる。今まで培ってきたアイデアを出して、今以上により良い市にしていきたい。一致団結していきたい。

(委員) 八幡町で不動産業・建設業をしている。5期目となる。今回新たなメンバーに入ってもらい、楽しみにしている。2年間課題はあるが、みんなで力を合わせてやっていきたい。仲良く・楽しくやっていきたい。

(委員) 南沢で花卉生産をしている。今期からである。右も左もわからないので、先輩方にご指導いただきながら頑張っていきたい。

(委員) 南沢で造園業を営んでいる。今期で5期目となる。楽しく意見交換しながら、楽しくお酒を交わしながら進んでいきたい。

(委員) 消防団に所属。南沢で測量業をやっている。青年会議所の推薦である。協力しながら頑張っていきたい。

(委員) 青年会議所より出向。前期より参加している。前期はなかなか馴染めなかったので、今期は馴染んでいきたい。

(委員) 本町で会計事務所をやっている。今期で2期目。前職は事業再生をやっていた。市内の産業振興に努めてまいりたい。

(委員) 小山で野菜を作っている。初めて参加である。勉強しながら頑張っていきたい。

(委員) 中央町で建設業をしている。3期目である。そろそろリタイアの年齢になるが、老後が楽しい街となるよう頑張っていきたい。

(4) 会長・副会長の選任

(要綱確認)

(委員) 会長には、過去4期8年間活躍された、篠宮宣典委員を推薦する。副会長には、2期4年間活躍され、また事業部長の経験のある大山裕嗣委員を推薦する。

会 長：篠宮 宣典委員

副会長：大山 裕嗣委員

(会場から異議なしの声)

(事務局) それでは、異議なしということで、会長、副会長を決定させていただきます。

(5) 会長・副会長挨拶

(会長) ただ今ご指名いただいた。経験のみでこの場に立たせていただいている。会長と役職に就いたからには、皆さんの意見を反映させた協議会にしていきたい。みなさんの自由な意見・発想を集め具現化させながら進めていきたい。個人的な想いは、市民の方に東久留米の魅力を知って頂き、東久留米を好きになっていただくところから進めていきたい。懇親会を含め、みなさんと楽しくやっていきたい。

(副会長) 会長を補佐してやっていきたい。東久留米を好きになっていただき、委員のみなさんが東久留米を好きになって頂かなければみんながついてこない。みなさんの意見を尊重し、認め合い議論していきたい。楽しくやる部分と引き締める部分は区別していきたい。東久留米をもっとよくしていきたい。

(6) 協議事項

① 今までの取り組みと今後の進め方について

(事務局) 3期分の報告書をお手元に配っている。地域の農産物を使った特産品の開発や、湧水の妖精るるめちゃんの制作、街バルやダイヤモンド富士などは委員みなさんの意見から生まれたものである。前期の協議会より、新産業創出推進事業部を設置した。今後の進め方については、地域密着型の観光ワークショップの検討結果を張り出しているが、東久留米には地域資源がいっぱいある。金融機関との意見交換の場を設けた。任期満了に伴い止まっている所である。早急に新産業創出推進事業部の設置を行いたい。前期より事業部会に参加されている齋藤委員・水越委員に加え、商工会より選出されている岩崎委員にも加わっていただきたい。その他の方で参加されたい方や意見のある方がいたらお願いしたい。

(会長) 事業部の概要説明を事業部長よりお願いしたい。

(委員) 前期より新たに設置した部会である。東久留米市は準工業地域が少ない地域であり、移転先を探している企業もいる。そういった問題や創業支援等の問題を考える部会として設置された。企業が手狭になって東久留米を出なければならぬ企業を食い止めるために設置されていた。また、空き店舗の問題を市のHPを利用して、借りたい人と空き店舗の持ち主のマッチングも始まっている。懇談会は、ご協力頂ける金融機関の支店長との会議を設け、工場地に企業が誘致できるように話し合う場として設置された。

(会長) 新産業創出推進事業部が今期も設置されるということでよいか。

全員：異議なし

(会長) 前期の報告書も配っているので、一読いただいて参加したければ参加も可能であるので、ご意見いただきたい。

(事務局) 3名でやっていただくのでよろしいか。

3名：問題なし

(会長) 事業部の設置については、過去3期分の報告書を用意したので一読いただきたい。湧水の妖精るるめちゃんは商工業推進事業部で生まれたキャラクターである。駅前で街バルは年1度開催されているが、商工業事業部で出た意見を具現化し、現在は商工会青年部で開催してもらっている。事業部の設置については、次回ないし次の会議で意見交換しながら設置していきたい。壁に貼っているのは、昨年観光部会で観光ワークショップを開催した。これは市で公募をした市民のみなさん(約50名)に集まっていただき、東久留米の魅力について話し合ってもらった。少し見ていただきたい。

(会長) 次回の協議会までに、どんな魅力があるか、どんな魅力を広めていきたいか考えていただき、次回の協議会で発表していただきたい。今後の協議会についてのご意見・想いをいただきたい。

(委員) ポテンシャルを持っている方はたくさんいるが、どこに行ったらいいのか。気軽に相談できる場として、会員非会員関係なく誰でも相談できるような場を作っていきたい。商工会の中にインキュベーションセンターをつくるような、地域の発展につながっていく取り組みをしていきたい。

(委員) リセットして、東久留米市の施策と照らし合わせながら考えていきたい。

(委員) 税金をあげる産業振興と農産物等を広める地域振興を両輪で考えている。東久留米をいろんな意味で住みやすい街にしていきたい。

(委員) 農業・商業を一緒にやっていくのは難しかったが、この協議会で少しずつ変わってきたと思う。東久留米をより良い方向にもっていきたい。

(委員) お祭りが大好きなので、おじいちゃんおばあちゃん子どもから大人まで楽しめるまつりを各地域で開催したい。

(委員) ワークショップを見たが、東久留米を知らない部分も多いことがわかった。知らないと好きになれないので、もっと地域を知るために回りたい。

(委員) 職業柄だが、東久留米の企業に役に立ちたい。会社を知って会社同士がつながって何かをやることで成長できると思う。会社同士を知るきっかけづくりをしたい。またスポーツが好きなので、スポーツを絡めた事業も進めていきたい。

(委員) ワークショップの資料を見て、知らない部分がたくさんあった。市民の方にも知ってもらえるように情報発信をしていきたい。

(委員) 市民に東久留米を好きになってもらうことは重要である。市民が市内でお金を落としてもらい仕組みやイベントを作っていきたい。